

平成22年度
日本留学試験(第2回)

正 解 表

平成22年度日本留学試験(第2回)試験問題 正解表

＜日本語＞

記 述 問題解答例を315ページに掲載

読解			
問		解答欄	正解
I		1	4
II		2	4
III		3	2
IV		4	3
V		5	2
VI		6	1
VII		7	1
VIII		8	4
IX		9	2
X	問 1	10	3
	問 2	11	1
XI	問 1	12	2
	問 2	13	4
XII	問 1	14	1
	問 2	15	1
XIII	問 1	16	1
	問 2	17	2
XIV	問 1	18	2
	問 2	19	2
XV	問 1	20	2
	問 2	21	3
XVI	問 1	22	3
	問 2	23	4
	問 3	24	1
	問 4	25	4

聴読解			聴解		
問	解答欄	正解	問	解答欄	正解
1 番	1	2	13番	13	1
2 番	2	4	14番	14	1
3 番	3	2	15番	15	2
4 番	4	1	16番	16	2
5 番	5	2	17番	17	1
6 番	6	1	18番	18	3
7 番	7	1	19番	19	4
8 番	8	4	20番	20	2
9 番	9	4	21番	21	3
10番	10	3	22番	22	1
11番	11	2	23番	23	4
12番	12	2	24番	24	4
			25番	25	2
			26番	26	3
			27番	27	3

〈理 科〉

物理			
問		解答欄	正解
Ⅰ	問 1	1	6
	問 2	2	2
	問 3	3	5
	問 4	4	4
	問 5	5	4
	問 6	6	2
	問 7	7	5
Ⅱ	問 1	8	3
	問 2	9	2
	問 3	10	3
Ⅲ	問 1	11	4
	問 2	12	2
	問 3	13	4
Ⅳ	問 1	14	2
	問 2	15	4
	問 3	16	2
	問 4	17	3
	問 5	18	5
	問 6	19	4

化学		
問	解答欄	正解
問 1	1	5
問 2	2	4
問 3	3	6
問 4	4	5
問 5	5	4
問 6	6	3
問 7	7	1
問 8	8	2
問 9	9	5
問10	10	2
問11	11	2
問12	12	4
問13	13	3
問14	14	1
問15	15	4
問16	16	1
問17	17	4
問18	18	4
問19	19	6
問20	20	2

生物		
問	解答欄	正解
問 1	1	6
問 2	2	5
	3	3
問 3	4	4
問 4	5	4
問 5	6	6
問 6	7	2
問 7	8	5
問 8	9	4
問 9	10	4
問10	11	5
問11	12	6
	13	1
問12	14	6
問13	15	3
	16	3
問14	17	5
問15	18	5

〈総合科目〉

問	解答欄	正解
問 1	1	3
	2	4
	3	2
	4	3
問 2	5	1
	6	4
	7	3
問 3	8	4
問 4	9	1
問 5	10	1
問 6	11	4
問 7	12	1
問 8	13	3
	14	2
問 9	15	3
問10	16	2
問11	17	1
問12	18	3
問13	19	3
問14	20	1

問	解答欄	正解
問15	21	2
問16	22	4
問17	23	4
問18	24	2
問19	25	3
問20	26	2
問21	27	3
問22	28	1
問23	29	4
問24	30	2
問25	31	4
	32	4
問26	33	2
問27	34	3
問28	35	1
問29	36	2
問30	37	3
問31	38	4

〈数 学〉

コース 1			
問		解答欄	正解
I	問 1	A	1
		BC	22
		DE	13
		FGH	289
	問 2	IJ	-2
		K	0
		L	1
		MNO	224
		P	0
		QR	92
		STU	092
		V	0
II	問 1	ABCD	1296
		EFG	256
		HIJ	512
		KL	81
		MN	16
		OP	32
		QR	55
	問 2	STUV	5212
		WX	51
		Y	4
III		Z	4
		ABCD	-123
		E	4
		F	1
		G	6
IV		HIJ	-15
		ABC	102
		DEF	121
		GH	12
		IJ	60
		K	3
		LMN	120
		O	9
		P	2
		QRST	2311

コース 2			
問		解答欄	正解
I	問 1	A	1
		BC	22
		DE	13
		FGH	289
	問 2	IJ	-2
		K	0
		L	1
		MNO	224
		P	0
		QR	92
		STU	092
II		V	0
		A	0
		B	7
		CD	23
		EFG	233
		HI	12
		JK	23
III		ABCD	2210
		EFGH	2222
		IJK	394
		LM	32
		NO	35
		PQ	59
		RS	43
IV	問 1	ABC	312
		D	1
		EFG	352
		HI	56
		J	4
	問 2	KLM	221
		NO	41
		P	1
		Q	3
		RS	19
		TUVW	1032

「記述」問題解答例

①

日本の食生活は、内容も食事の仕方もずいぶん変化している。昔は、毎日家で料理を作り、それを決まった時間に家族でゆっくり食べていた。しかし、現在、特に都会では、大人も子どもも時間に追われ、家族との食事より仕事や勉強を優先し、各自好きな時間に好きなものを食べることは珍しくなっている。また、結婚しない人や一人暮らしの高齢者、厳しい経済状況で食事の質より安さや量を優先する人も多い。そこで、東京では、安価な弁当やレトルト食品がどこでも買えるようになり、一人でも気軽に食事できる場所も増えている。

一方、このような食生活の変化は、肥満や成人病の増加につながるといった悪影響が指摘されており、食生活を見直そうという動きが出始めている。無添加食品や無農薬野菜への関心や伝統的な食事への回帰志向などは食事の質を重視する例であろう。

日本経済の現状から、食事の時間と費用を極力省こうとする傾向は今後も続くと思う。しかし、体によいものをゆっくり味わうべきだという意識も広がっていることから、日本人の食事のあり方は、手間をかけて食べるタイプとかけないタイプに分かれると思う。

②

現在、日本では都市部に多くの人が移り住んでいる。就職や就学の機会が、地方よりも多様かつ豊富であるため、そのような傾向がみられるのだと思う。

しかし、人が多いことによる悪影響もある。たとえば、土地の値段が高いため、職場や学校から離れた郊外に、狭い住居しか用意できない人がほとんどだ。よって、朝晩の電車は不快なほど混雑していて、乗車時間も長い。そのため、睡眠時間や個人の時間を確保するのが難しく、疲れがたまりやすい。また、ひとたび交通機関が麻痺すれば、かなりの人々が帰宅手段を失うことになる。彼らが歩いて自宅を目指した場合、主要幹線道路は人であふれるともいわれている。就職や就学の機会が豊富な都市部には、このようリスクもあるのだ。

これらのリスクを避け、快適な生活を求める人々が、今後、地方に移っていくだろう。通信技術の発達により、コンピュータなどの機器さえあれば場所や時間に拘束されずに、仕事や勉強ができるようにもなってきた。就職や就学の機会が増せば、地方に住む人も増え、都市部に人が集まる傾向はだんだんと緩和されていくだろうと私は考える。

「記述」採点基準

「記述」の採点にあたっては、以下の基準に基づき採点し、それぞれの得点を表示します。

得点	基準
50 点	(レベル S) 課題に沿って、書き手の主張が、説得力のある根拠とともに明確に述べられている。かつ、効果的な構成と洗練された表現が認められる。
45 点	(レベル A) 課題に沿って、書き手の主張が、妥当な根拠とともに明確に述べられている。かつ、効果的な構成と適切な表現が認められる。
40 点	
35 点	(レベル B) 課題にはほぼ沿って、書き手の主張が、おおむね妥当な根拠とともに述べられている。かつ、妥当な構成を持ち、表現に情報伝達上の支障が認められない。
30 点	
25 点	(レベル C) 課題を無視せず、書き手の主張が、根拠とともに述べられている。しかし、その根拠の妥当性、構成、表現などに不適切な点が認められる。
20 点	
10 点	(レベル D) 書き手の主張や構成が認められない。あるいは、主張や構成が認められても、課題との関連性が薄い。また、表現にかなり不適切な点が認められる。
0 点	(NA) * 採点がなされるための条件を満たさない。

レベル A, B, C については、同一水準内で上位の者と下位の者を区別して得点を表示する。

* 0 点 (NA) に該当する答案は以下の通りである。

- ☐ 白紙のもの。
- ☐ 全文が日本語以外の言語で書かれているもの。
- ☐ 全文が課題文の引き写しで終わっているもの。
- ☐ 与えられた両方の課題 (①と②) について書かれているもの。
- ☐ 与えられた両方の課題 (①と②) の、どちらについて書かれているか判断できないもの。
- ☐ 与えられた課題とまったく無関係なことが書かれているもの (問題冊子の表紙等、課題と関係のない文章を引き写している、あるいは自己紹介で終わっている等)。
- ☐ その他、委員会の議を経て、0 点とするに至当な理由があると判断されたもの。

平成22年度 日本留学試験(第2回)試験問題
(聴解・聴読解問題 CD 付)

発行日 …………… 2011年2月1日 初版第1刷

編著者 …………… 独立行政法人 日本学生支援機構
〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29
電話 03-6407-7457
ホームページ <http://www.jasso.go.jp/>

発行者 …………… ブレンダン・デラハンティ

印刷所 …………… 株式会社 ケーコム

製本所 …………… 株式会社 越後堂製本

発行所 …………… 株式会社 ピアソン桐原
〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 2-44-5
TEL 03-3314-8181 (販売)
ホームページ <http://www.pearsonkiriara.jp/>

©2011 Japan Student Services Organization

Printed in Japan

▶ 乱丁・落丁本はお取り替えいたします。

▶ 本書の内容を無断で複写・複製することを禁じます。

ISBN978-4-342-88280-7

CDトラック番号一覧

トラック番号	問題番号等	トラック番号	問題番号等
1	音量調節	19	聴解の説明
2	試験全体の説明	20	聴解練習
3	聴読解の説明	21	聴解練習の解説
4	聴読解練習	22	聴解 13 番
5	聴読解練習の解説	23	聴解 14 番
6	聴読解 1 番	24	聴解 15 番
7	聴読解 2 番	25	聴解 16 番
8	聴読解 3 番	26	聴解 17 番
9	聴読解 4 番	27	聴解 18 番
10	聴読解 5 番	28	聴解 19 番
11	聴読解 6 番	29	聴解 20 番
12	聴読解 7 番	30	聴解 21 番
13	聴読解 8 番	31	聴解 22 番
14	聴読解 9 番	32	聴解 23 番
15	聴読解 10 番	33	聴解 24 番
16	聴読解 11 番	34	聴解 25 番
17	聴読解 12 番	35	聴解 26 番
18	聴読解終了の合図	36	聴解 27 番
		37	聴解終了及び 解答終了の合図